

## 「平成28年度 学校関係者評価結果報告書」の公表について

平成28年度における当校の学校関係者評価を行い、ここに、【学校関係者評価結果】報告書を公表いたします。  
 今後は、報告書にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を回り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思っております。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

適正度 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

評価項目	学校関係者評価結果		学校関係者評価結果を受けての改善事項
	適正度	ご意見	
来年度の重点課題に対する取組方法	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集活動に同窓生を活用する方法を考え、予算化して進めてほしい。</li> <li>・情報セキュリティの向上はぜひ進めてほしい。</li> <li>・改善点の洗い出しと対応を行って、質の向上を目指すとともに、外へ積極的にアピールしてほしい。</li> <li>・授業、学校満足度、卒業生、企業などのアンケートやインタビューは客観指標で評価する習慣をつけることが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、全校で質向上に取り組んでいく。</li> </ul>
1 教育理念目標	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き親身になって学生対応をしていただきたい。</li> <li>・保護者向けパンフレットによる教育理念の伝達はよい方法だと思う。</li> <li>・業界ニーズの研究が引き続き必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人全体で将来の事業の在り方を研究していく。</li> </ul>
2 学校運営	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス公開を早急に行い、情報を見えやすくして専門学校の特徴をPRできるようにすべきである。</li> <li>・運営面での課題は絞り込んで中期計画で進めてみてはいかかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度中のシラバス公開を目指す。</li> </ul>
3 教育活動	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会によるカリキュラム検討が有効に機能しており、充実している。</li> <li>・ベテラン教員の退職の影響が極力減るよう努力するとともに、教員確保に努めてほしい。</li> <li>・専門家の確保が難しい場合は、特別講座等による柔軟な対応も必要。</li> <li>・職員研修は必要だが、効果の検証体制も必要。本当に授業に反映される研修を選んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家確保に向け努力を続ける。</li> <li>・効果的な研修に絞るべくチェック機能を強化する。</li> </ul>
4 学修成果	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率が高いことにより、学生が安心して学習できることにつながる。</li> <li>・学習モチベーションが低い学生に対するアプローチを研究してほしい。</li> <li>・企業アンケートに関して、学校関係者評価委員も積極的に協力したい。</li> <li>・卒業生、在校生へのヒアリングを活用してフィードバックしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習モチベーションに関しては、特に1年次を中心に取り組みを強化する。</li> <li>・効果的な企業アンケート方法について引き続き研究を行う。</li> <li>・在校生・卒業生のアンケートは実施しているので、効果的なフィードバックについて研究する。</li> </ul>
5 学生支援	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職だけでなく、卒業生を支援する分野を検討してほしい。</li> <li>・保護者を含めた意思疎通の方法をさらに研究してほしい。</li> <li>・健康診断で終わりだけでなく、学生の健康教育も必要である。</li> <li>・授業料免除等の経済的援助に関して、同窓会として協力をできるか、検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、検討させていただく。</li> </ul>
6 教育環境	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップのウェイトを高めていくべきである。</li> <li>・防災体制はさらに充実してほしい。ペットを扱う学科では、同行避難訓練も取り入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップに関しては、カリキュラムとの整合性を考慮しながら検討をしたい。</li> <li>・防災体制については、質保証の向上の観点から見直しを進める。</li> </ul>
7 学生の受入れ募集	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学外イベントなどで「知らなかった」「新聞で知った」という人が多い。来てはじめて学校を知るということでは、努力の成果を世の中に伝える効率が悪い。メディアやHPを活用したり、せつかく交通量の多い道路に面した立地を生かして道路沿いに看板広告などを設置するなどの方法を考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、検討させていただく。</li> </ul>
8 財務	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生獲得のために各学科もPRに力を入れるべきだと思う。</li> <li>・財政基盤の強化策を立案し、取り組んでほしい。</li> <li>・同窓会の活用方法を考えるのも一手だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に、検討させていただく。</li> </ul>
9 法令等の遵守	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性の高い学校なので、情報セキュリティについては、さらなる改善を進めてほしい。</li> <li>・どのようなシステムを構築しても、内部の者が故意に情報を漏えいすればひとたまりもない。職員や学生に意識を改革する教育が必要。</li> <li>・セキュリティ推進について、学校関係者評価委員でも可能な限り協力する。</li> <li>・自己点検後の改善への取り組みを積極的にできる仕組みを確立してほしい。</li> <li>・防災・ハラスメントのマニュアル整備が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティに関しては、法人全体で体制をつくり推進していく。</li> <li>・自己点検による効果を生み出すためのPDCAサイクルが実現できるよう研究を進めたい。</li> </ul>
10 社会貢献・地域貢献	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開は効果的で良かったと思う。</li> <li>・学生のボランティア経験は大切なので、ボランティア機会を探す努力を怠らないでほしい。</li> <li>・ボランティア機会の発掘には、学校関係者評価委員も相談に応じたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開は工夫を重ねて継続して取り組む。</li> <li>・学生ボランティアについては研究を続ける。</li> </ul>
その他のご意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部イベントを単独学科で行うことが多いが、他学科とコラボレーションを進めれば、さらに良い活動になると思う。</li> <li>・それぞれやり方の違いがあるプロが非常勤講師になる以上、やり方の違いが互いの否定につながらないよう、講師間の交流を進めてほしい。</li> <li>・専門職大学の方向へ進むか否かに関わらず、第三者評価に向かう流れだと思いが、その際はFD/SD(教育改革/職員改革)の2本柱を念頭に準備しておいてほしい。</li> <li>・引き続き、学生には良い経験とスキルを身につけさせて、より良い学生を社会へ送りだしてくれることを期待する。</li> </ul>	

※適正度は、全委員の平均値を表示  
 ※ご意見は要約させていただきました。

以上

第4回学校関係者評価委員会 実施日時:2017年3月15日(水) 18:00~19:30

### 学校関係者評価委員

委員長 片瀬 拓弥 伊藤 亮二 澤田 友行 荒崎 元徳 山田 佳代子	清泉学院短期大学 准教授 松本商工会議所 事務局長 ナチュラル・サワダ 株式会社たちばな Web事業部 ポアレスチュール 経営者	小野 キミ子 加藤 博史 溝口 諒 田中 優子	Wonder House 経営者 医療法人敬仁会 桔梗ヶ原病院 でざいんと 経営者 卒業生同窓会 会長
--	--	----------------------------------	--

### 学校職員(オブザーバー)

千村 重平 小池 成仁	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 学校長 学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 副校長	堀内 貴彦 望月 弘	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 教務部長 学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 教務副部長
----------------	--	---------------	---